

災害の概況

(令和元年)

※本統計において、平成31年1月1日から令和元年12月31日までの期間は、令和元年と表記する。



鳥取県西部広域行政管理組合
消防局

目 次

(ページ数)

I 火災概況

1	火災の現況と最近の動向	1
	図 I - 1 火災件数の推移と傾向	1
	図 I - 2 火災による死者と負傷者	1
2	出火状況	2
	図 I - 3 火災種別ごとの件数と構成比	2
	図 I - 4 月別の火災種別ごと出火件数	2
	図 I - 5 市町村別火災件数と構成比	3
3	火災による死傷者の内訳	3
	表 I - 1 火災種別死傷者発生状況	3
4	出火原因	4
	図 I - 6 火災種別ごとの出火原因	4
	別表 I - 1 火災統括表	5
	別表 I - 2 市町村別火災状況(その1)	6
	別表 I - 3 市町村別火災状況(その2)	7

II 救急概況

1	救急出動件数、救急搬送状況	8
	図 II - 1 事故種別救急出動状況	8
	図 II - 2 事故種別救急搬送状況	8
	図 II - 3 過去5年間の救急推移	9
2	市町村別救急活動状況	9
	図 II - 4 市町村別救急活動状況	9
3	傷病程度別搬送状況	10
	図 II - 5 傷病程度別搬送状況	10
4	年齢別搬送状況	10
	図 II - 6 年齢別搬送状況	10
5	署所別救急活動状況	11
	図 II - 7 署所別救急活動状況	11
6	月別救急活動状況	11
	図 II - 8 月別救急活動状況	11
7	現場到着所要時間、収容所要時間	12
	図 II - 9 現場到着所要時間	12
	図 II - 10 収容所要時間	12
8	応急手当実施状況	13
	図 II - 11 応急手当実施状況	13
9	高度救命処置状況	13
	図 II - 12 高度救命処置件数	13
	図 II - 13 医師引き継ぎ時の状況	13
10	救急講習件数の推移	14
	図 II - 14 過去5年間の救急講習件数推移	14
	図 II - 15 過去5年間の救急講習人員推移	14
11	市町村別救急活動の推移	15
	表 II - 1 過去5年間の市町村別救急件数	15

Ⅲ 救助概況	16
1 事故種別救助出動状況	16
図Ⅲ－1 事故種別救助出動状況	16
2 事故種別救助活動状況	16
図Ⅲ－2 事故種別救助活動状況	16
3 事故種別救助人員状況	17
図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況	17
4 管轄別救助活動状況	17
図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況	17
5 市町村別救助活動状況	18
図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況	18
6 月別救助活動状況	18
図Ⅲ－6 月別救助活動状況	18
Ⅳ 119番着信概況	19
1 着信件数の概況	19
表Ⅳ－1 着信件数内訳	19
2 月別の119番着信状況	19
表Ⅳ－2 月別119番着信状況	19
3 電話種別による119番着信状況	20
表Ⅳ－3 電話種別による119番着信件数の推移	20
表Ⅳ－4 電話種別による通報状況	20
4 携帯電話からの着信状況	21
表Ⅳ－5 携帯電話からの着信状況	21
表Ⅳ－6 携帯電話の消防機関別転送状況	21
5 時間帯別119番通報の着信状況	22
図Ⅳ－1 時間帯別着信状況	22

注：本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

I 火災概況

(平成31年1月～令和元年12月)

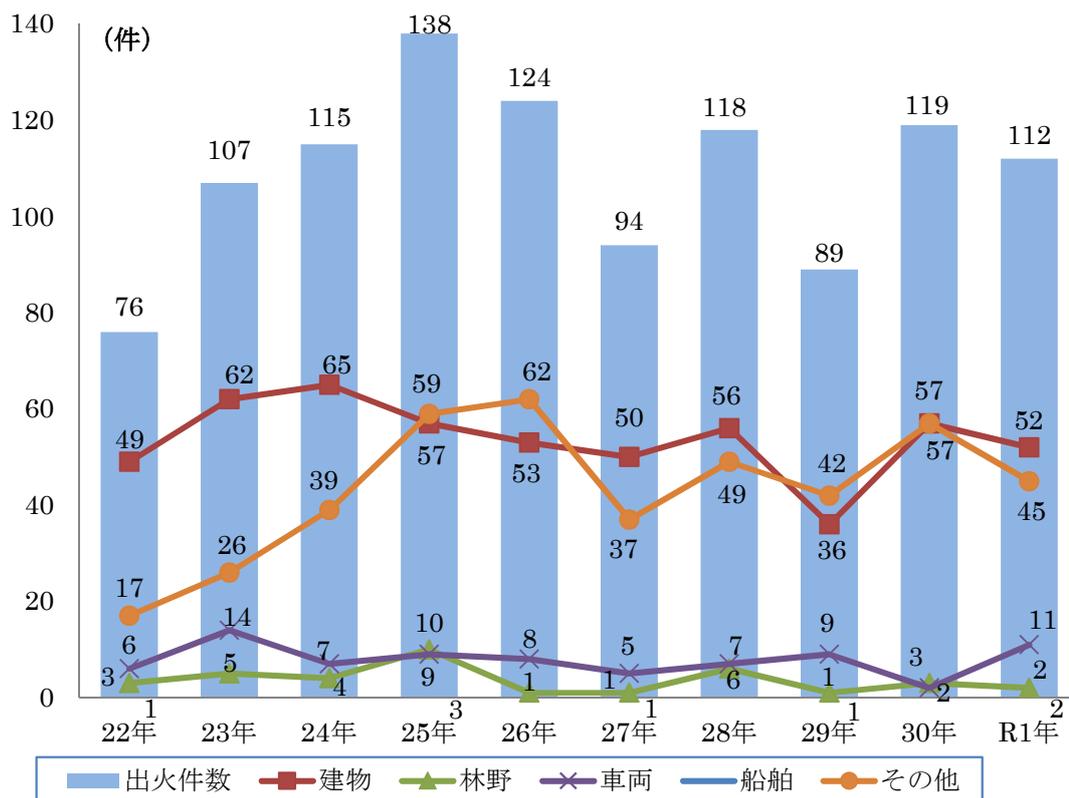
1 火災の現況と最近の動向

火災件数は112件で、前年比7件(5.9%)の減少となりました。この10年間の火災件数をみると、平均して110件前後で推移しています。

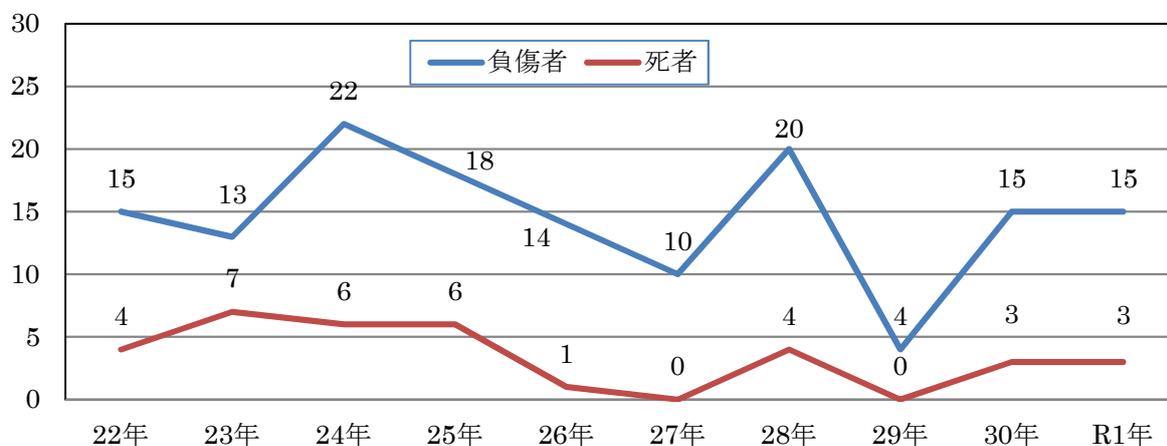
また、**火災による死者は3人、負傷者は15人**で前年と同数となりました。

(図I-1、図I-2参照)

図I-1 火災件数の推移と傾向



図I-2 火災による死者と負傷者



2 出火状況

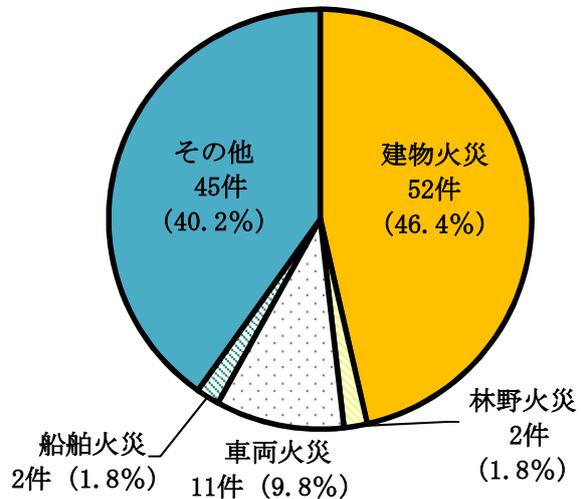
- (1) 建物火災は火災全体の46.4%
火災件数の構成比率をみると、建物火災が46.4%で最も高い比率を占め、その次にその他火災が40.2%となりました。

(図 I - 3 参照)

- (2) 建物火災による損害額は減少
建物火災の損害額は前年比30.9%の減少、焼損床面積は前年比29.7%の減少となりました。
しかしながら、焼損表面積は大幅に増加しています。

(別表 I - 1 参照)

図 I - 3 火災種別ごとの件数と構成比

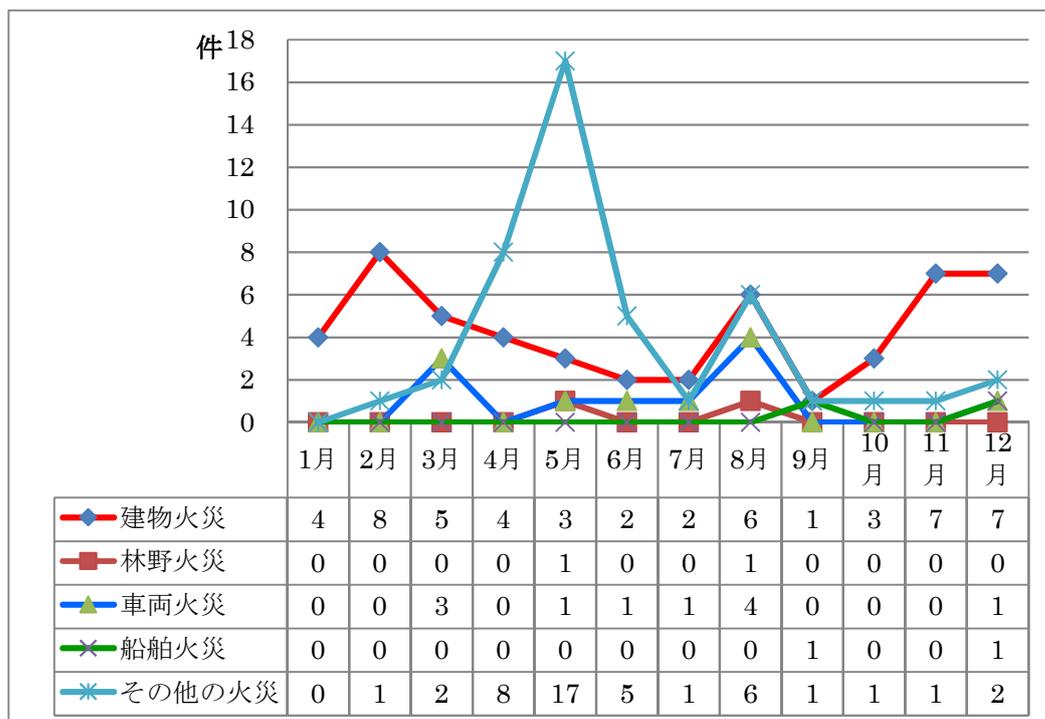


- (3) 建物火災は2月に多く発生

火災種別ごとの出火件数を月別でみると、建物火災は52件で、毎月発生していますが、特に2月と11月、12月に多く発生しています。その他火災は45件で、4月から8月までの間に37件発生しています。

(図 I - 4 参照)

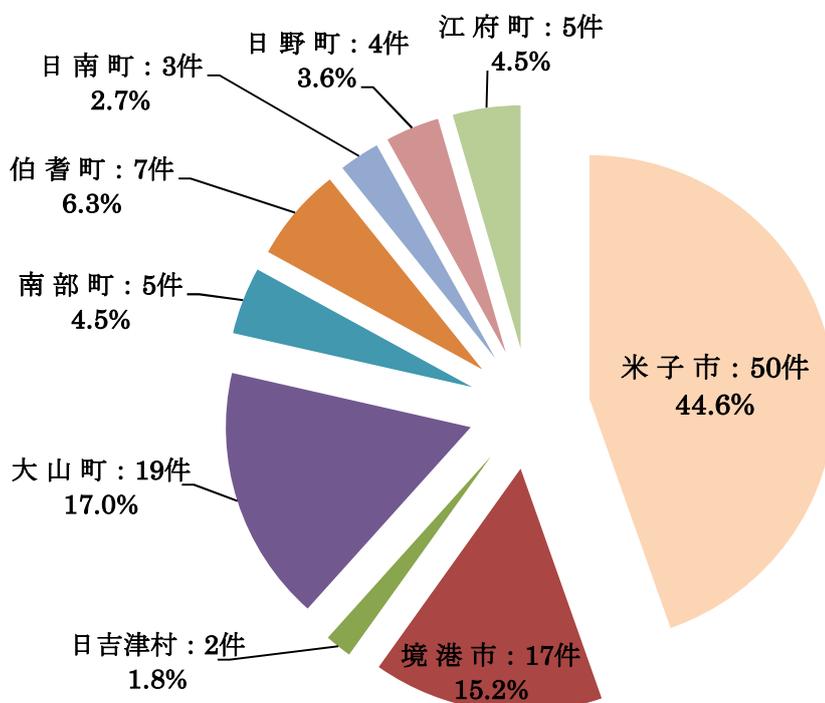
図 I - 4 月別の火災種別ごと火災件数



(4) 市町村別火災状況

火災件数を市町村別で見ると、米子市が50件（44.6%）と最も多く、次いで大山町19件（17.0%）、境港市17件（15.2%）となりました。（図I-5、別表I-2、別表I-3参照）

図I-5 市町村別火災件数と構成比



3 火災による死傷者の内訳

(1) 死者の内訳

火災による死者は3人で、うち2人は住宅火災によるものです。

(2) 負傷者の内訳

火災による負傷者は15人で、うち7人は住宅火災によるものです。

(表I-1参照)

表I-1 火災種別死傷者発生状況

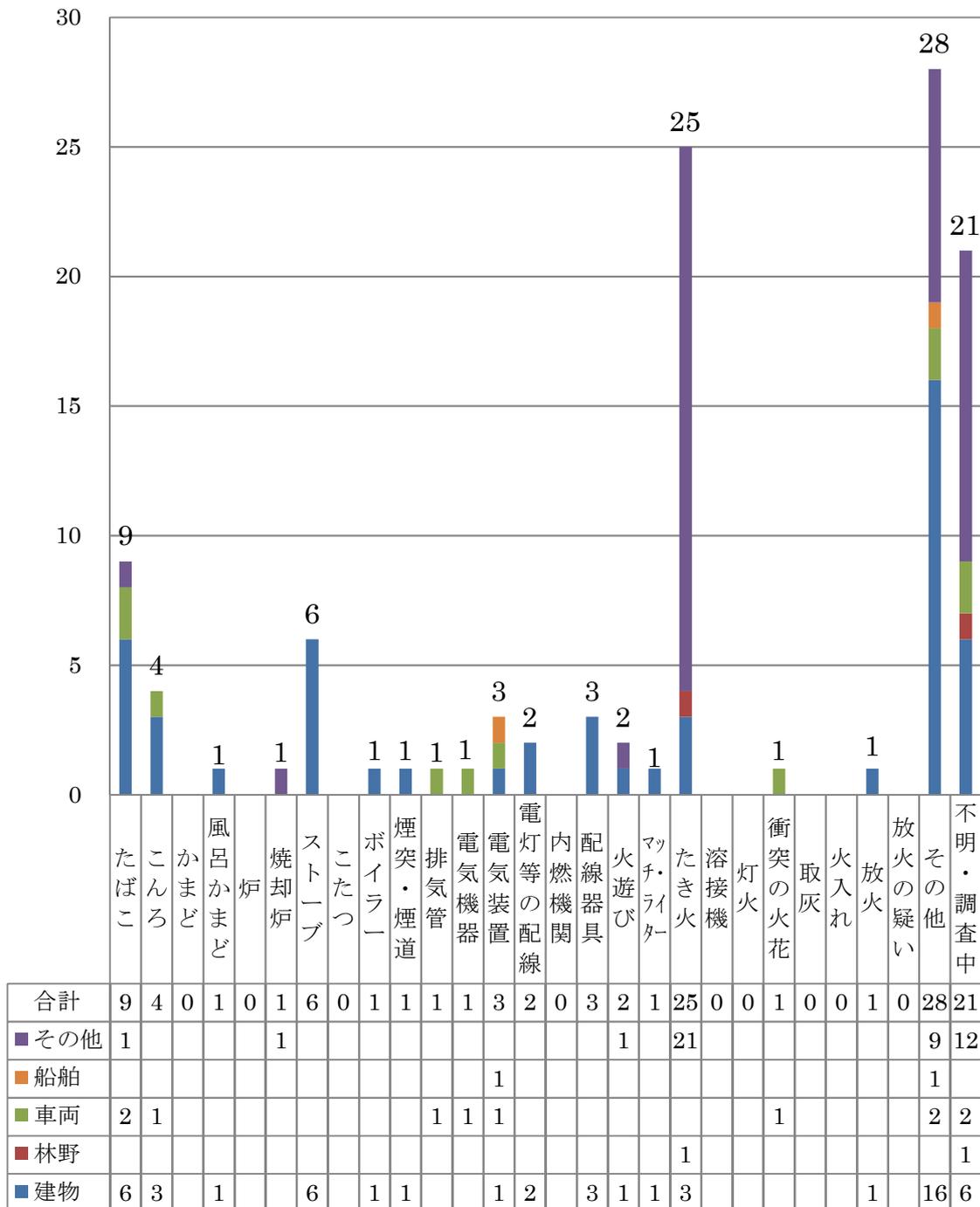
	合計	建物火災						車両火災	林野火災	その他火災
		小計	住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	その他			
死者	3	2	2						1	
死者(0~5歳)	0									
死者(6~64歳)	1	1	1							
死者(65歳~)	2	1	1						1	
負傷者	15	10	7				3	2	3	

4 出火原因

火災件数を出火原因別で見ると、たき火が25件（22.3%）と最も多く、次いでたばこ9件（8.0%）、ストーブ6件（5.4%）となりました。

建物火災の主な原因をみると、たばこ及びストーブが6件と最も多く、次いでこんろ、配線器具及びたき火が3件となりました。（図I-6参照）

図 I - 6 火災種別ごとの火災原因



別表 I - 1 火災統括表

区 分 (単 位)	平成 22 年	平成 30 年	令和元年	増 減	増減率
出火件数	76	119	112	△ 7	△ 5.9
建物火災	49	57	52	△ 5	△ 8.8
林野火災	3	3	2	△ 1	△ 33.3
車両火災	6	2	11	9	450.0
船舶火災	1	0	2	2	—
その他火災	17	57	45	△ 12	△ 21.1
焼損棟数 (棟)	87	94	68	△ 26	△ 27.7
全 焼	29	32	14	△ 18	△ 56.3
半 焼	6	8	3	△ 5	△ 62.5
部 分 焼	28	20	15	△ 5	△ 25.0
ぼ や	24	34	36	2	5.9
建物焼損床面積 (㎡)	6,947	5,384	3,784	△ 1,600	△ 29.7
建物焼損表面積 (㎡)	156	94	887	793	843.6
林野焼損面積 (a)	9	29	0	△ 29	—
死 者 (人)	4	3	3	0	0
負傷者 (人)	15	15	15	0	0
り災世帯数 (世帯)	37	37	31	△ 6	△ 16.2
全 損	14	13	9	△ 4	△ 30.8
半 損	1	3	1	△ 2	△ 66.7
小 損	22	21	21	0	0
り災人員 (人)	85	108	67	△ 41	△ 38.0
損 害 額 (千円)	187,017	161,279	114,978	△ 46,164	△ 28.7
建物火災	184,933	159,088	109,970	△ 48,902	△ 30.9
林野火災	18	0	3	3	—
車両火災	1,940	270	1,426	1,156	428.1
船舶火災	15	0	3,500	0	—
その他火災	111	374	79	△ 295	△ 78.9
爆 発	0	1,547	0	△ 1,547	—
出 火 率 (件/万人)	3.12	5.10	4.82	△ 0.28	—

別表 I - 3 市町村別火災状況 (その2)

	令和元年					平成30年					平成29年					平成28年					平成27年									
	合計	建物	野	両	船舶	その他	合計	建物	野	両	船舶	その他	合計	建物	野	両	船舶	その他	合計	建物	野	両	船舶	その他						
米子市	50	20		5		25	64	32		2		30	49	20		3		26	62	35		1		23	44	26		4		14
境港市	17	11			2	4	13	7				6	15	5		1		8	13	6				6	14	5		1	7	
日吉津村	2	1				1	2	2					2	1				1	1					1	1	1				
大山町	19	9	1	2		7	14	4			10	8	5				3	16	5	2	3			6	10	4	1		5	
南部町	5			1		4	9	3	3		3	4	2		1		1	7	1	1				5	5	3			2	
伯耆町	7	5	1	1		1	7	4			3	4			2		2	10	3	2				5	4	3			1	
日南町	3	2	1				4	4				2	1	1				4	3					1	5	3			2	
日野町	4	2	1	1		1	4	1			3	2	1		1			2	2					8	3	3			5	
江府町	5	2	1	1		2	2				2	3	1		1			3	1					2	3	2			1	
合計	112	52	2	11	2	45	119	57	3	2	0	57	89	36	1	9	1	42	118	56	6	7	0	49	94	50	1	5	1	37

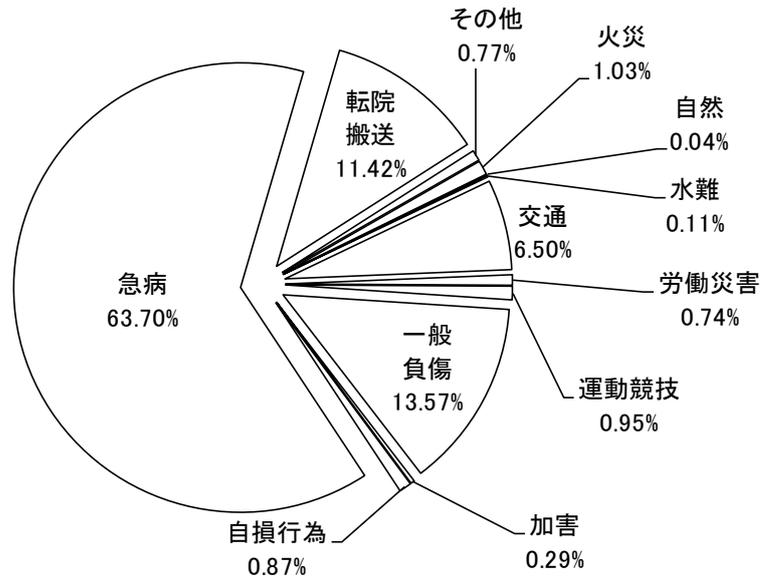
II 救急概況

(平成31年1月～令和元年12月)

1 救急出動件数、救急搬送状況

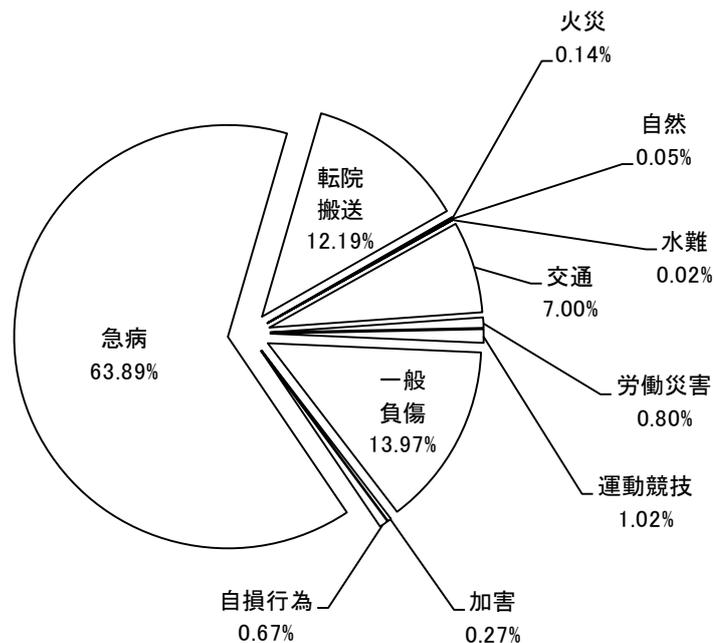
救急出動件数は11,624件で、前年比78件(0.7%)の減少となりました。救急搬送人員は10,806人で、前年比182人(1.7%)の減少となりました。(図II-1、II-2、II-3参照)

図II-1 事故種別救急出動状況



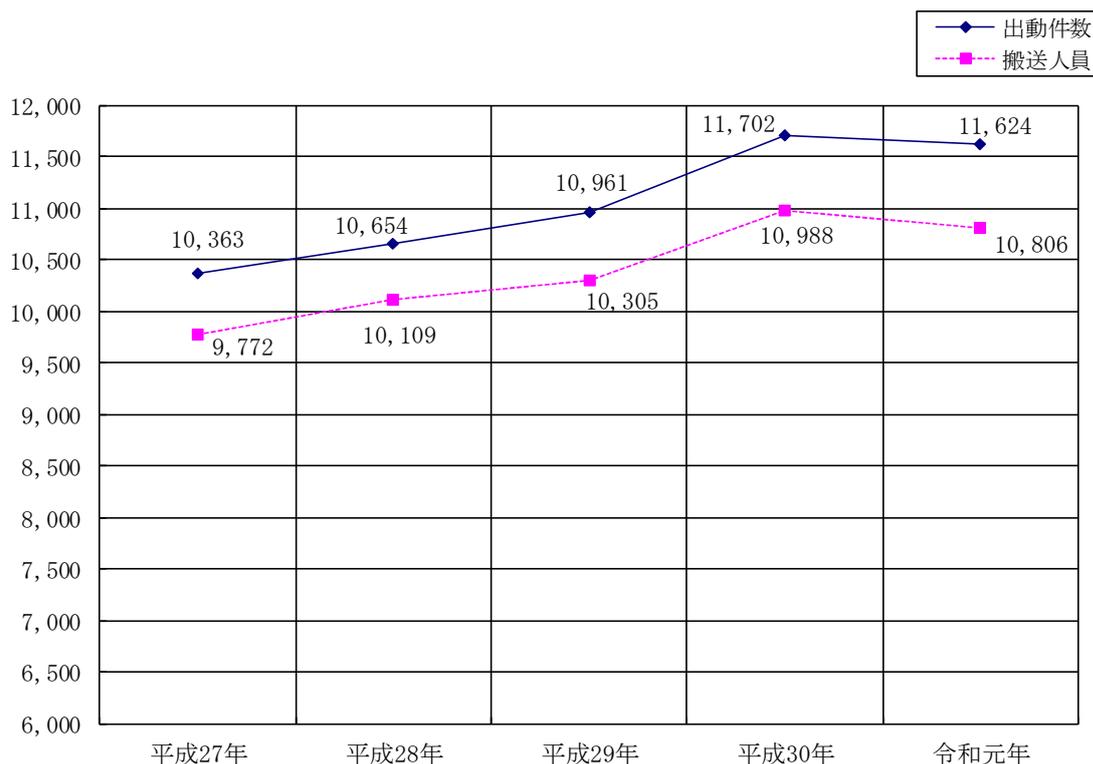
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	120	5	13	755	86	111	1,577	34	101	7,405	1,327	90	11,624

図II-2 事故種別救急搬送状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	15	5	2	756	86	110	1,510	29	72	6,904	1,317	0	10,806

図Ⅱ－3 過去5年間の救急推移

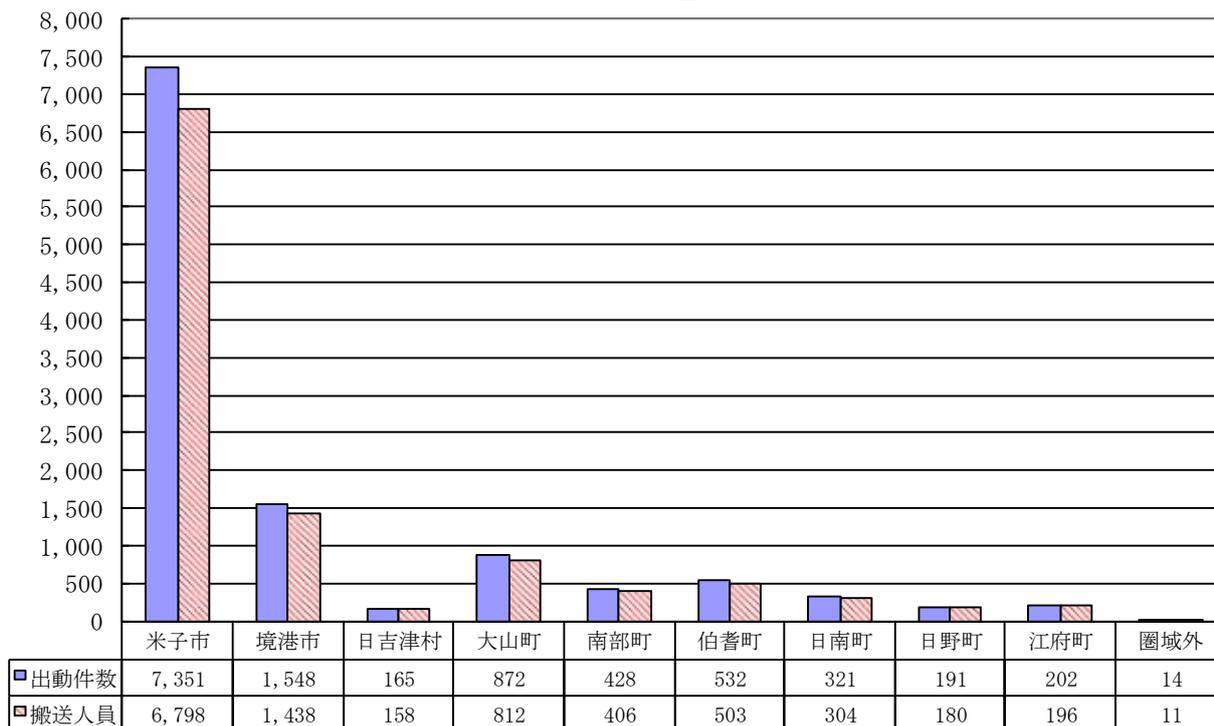


2 市町村別救急活動状況

救急活動状況を市町村別で見ると、救急出動件数が増加したのは、米子市（前年比19件の増加）及び伯耆町（前年比28件の増加）となりました。その他の市町村は僅かながら救急出動件数の減少が認められました。

（図Ⅱ－4参照）

図Ⅱ－4 市町村別救急活動状況

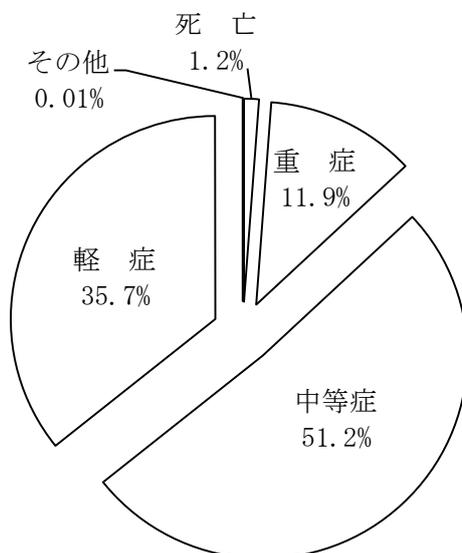


3 傷病程度別搬送状況

救急搬送人員を傷病程度別で見ると、中等症が5,536人(51.2%)と最も多く、次いで軽症が3,859人(35.7%)となりました。

(図Ⅱ-5参照)

図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



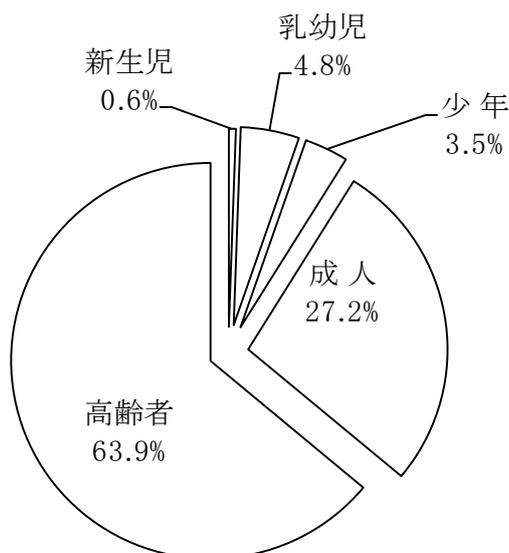
程 度	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
搬送人員	127	1,283	5,536	3,859	1	10,806

4 年齢別搬送状況

救急搬送人員を年齢別で見ると、65歳以上の高齢者が6,908人(63.9%)と最も多くなりました。

(図Ⅱ-6参照)

図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

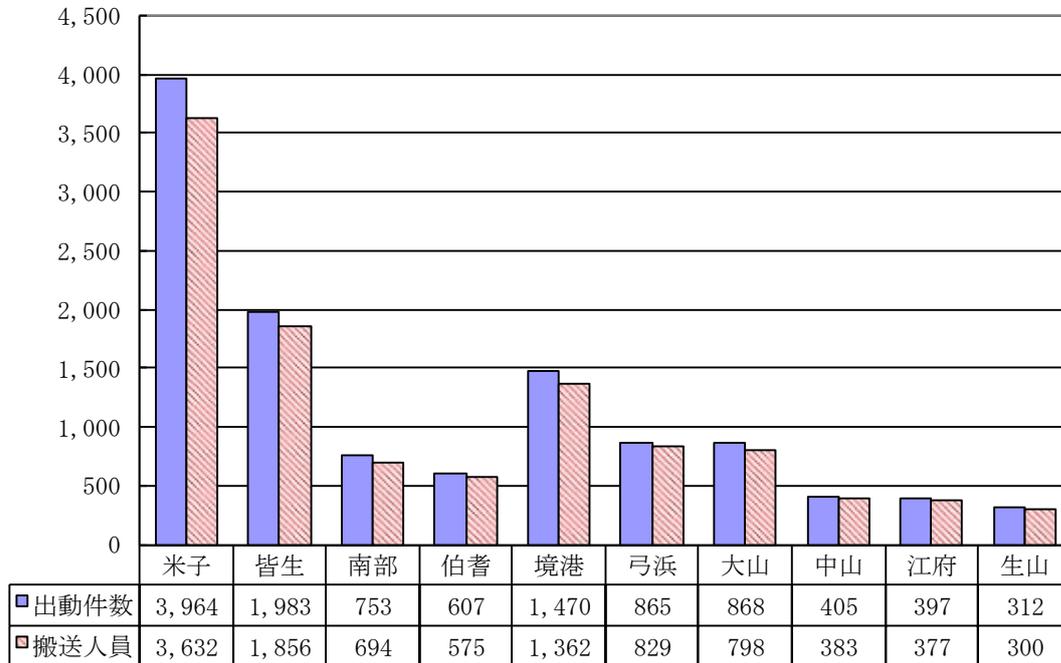


年齢別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
	生後28日未満	生後28日以上 ～満7歳未満	満7歳以上 ～満18歳未満	満18歳以上 ～満65歳未満	満65歳以上	
搬送人員	61	515	383	2,939	6,908	10,806

5 署所別救急活動状況

救急活動状況を署所別で見ると、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ3,964件(34.1%)、3,632人(33.6%)と最も多くなりました。(図Ⅱ-7参照)

図Ⅱ-7 署所別救急活動状況

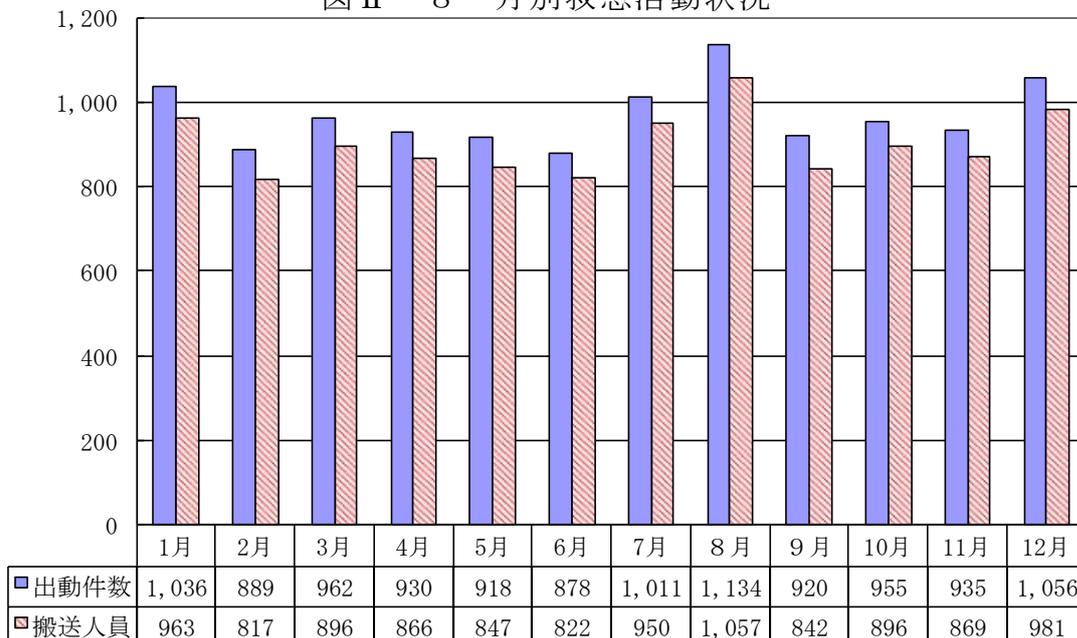


6 月別救急活動状況

救急出動件数を月別で見ると、8月が1,134件(9.8%)と最も多く、次いで12月の1,056件(9.1%)、1月1,036件(8.9%)、7月1,011件(8.7%)となりました。

救急搬送人員を月別で見ると、8月が1,057人(9.8%)と最も多く、次いで12月の981人(9.1%)、1月963人(8.9%)、7月950人(8.8%)となりました。(図Ⅱ-8参照)

図Ⅱ-8 月別救急活動状況

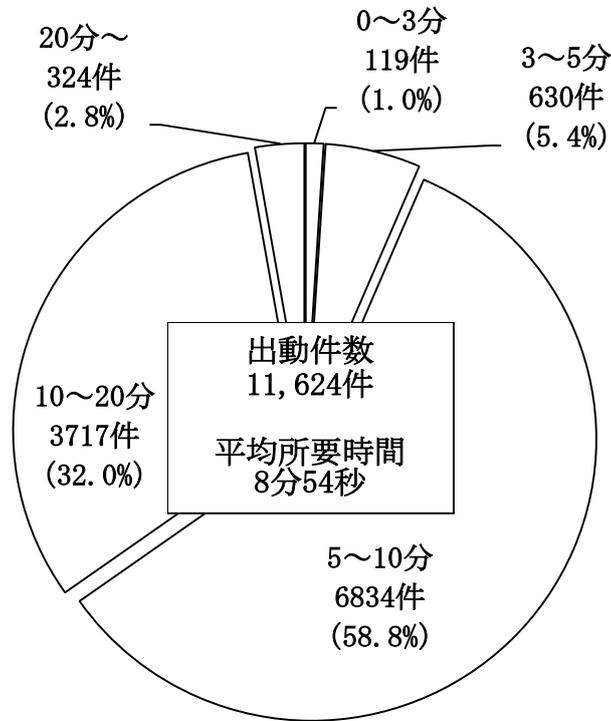


7 現場到着所要時間、収容所要時間

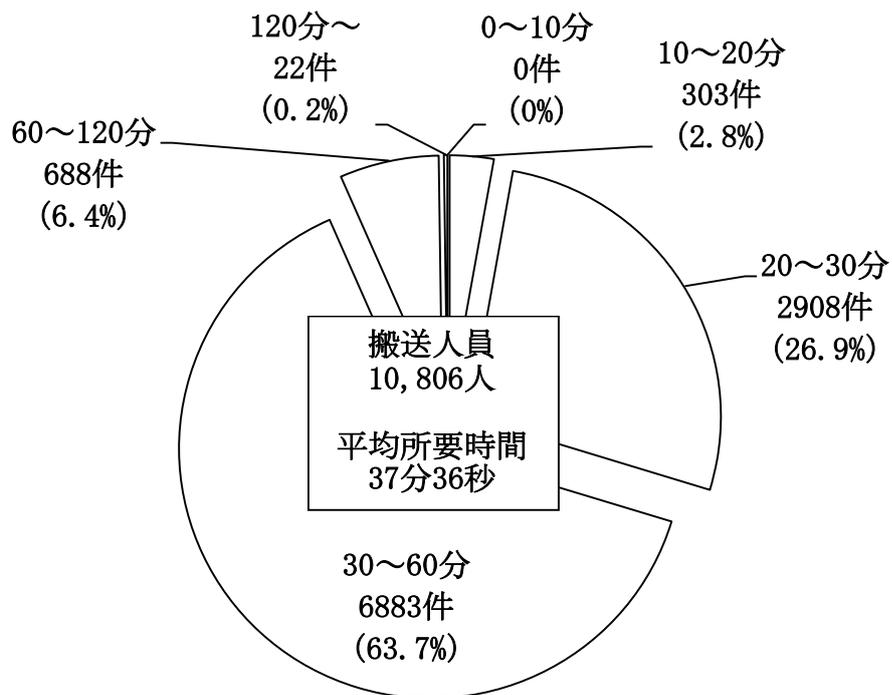
平均現場到着所要時間は8分54秒で前年比44秒の増加となり、平均収容所要時間は37分36秒で前年比15秒の増加となりました。

(図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

図Ⅱ-9 現場到着所要時間



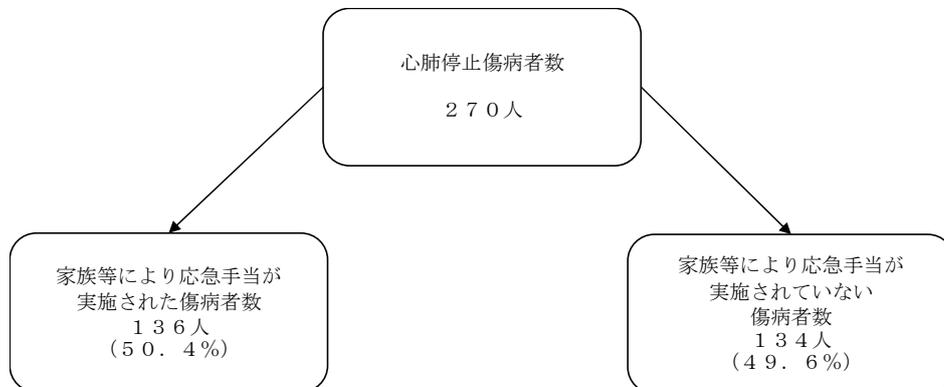
図Ⅱ-10 収容所要時間



8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者 270 人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、136 人（50.4%）となりました。（図Ⅱ－11 参照）

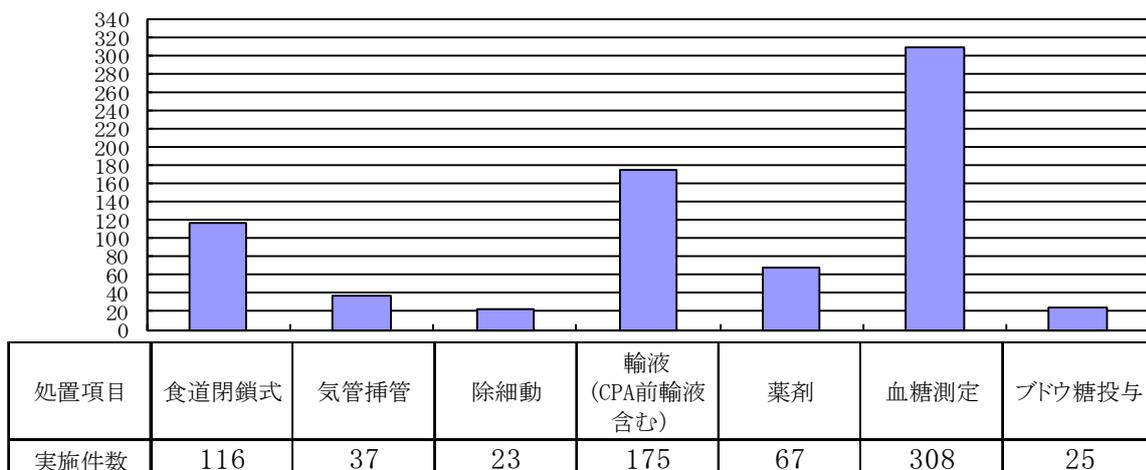
図Ⅱ－11 応急手当実施状況



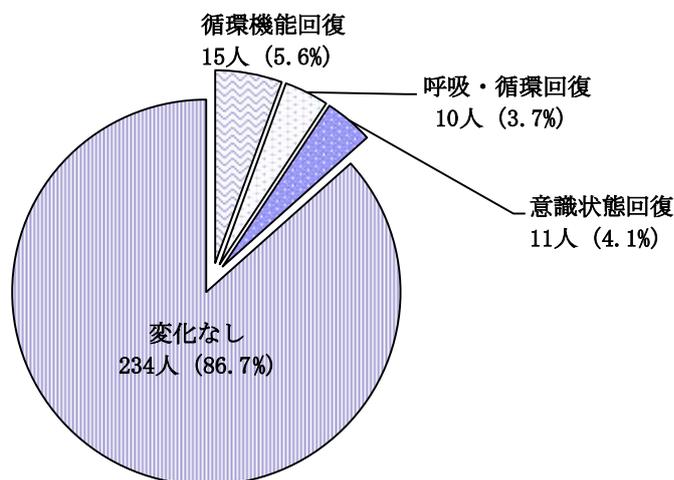
9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者 270 人のうち救急救命士の高度救命処置により、36 人が回復されました。（図Ⅱ－12、Ⅱ－13 参照）

図Ⅱ－12 高度救命処置件数



図Ⅱ－13 医師引き継ぎ時の状況

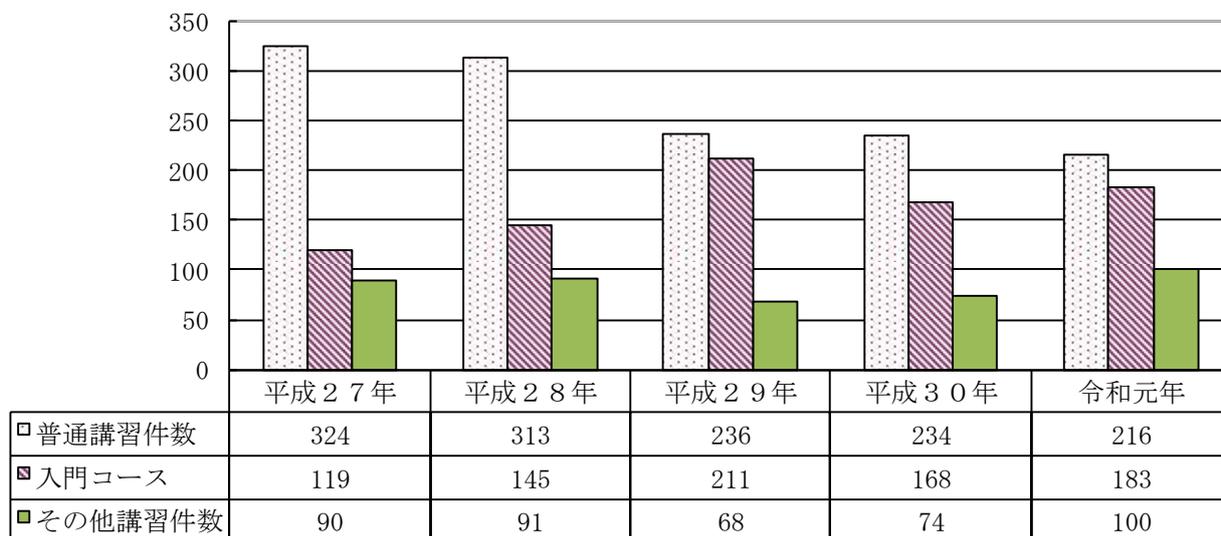


10 救急講習件数の推移

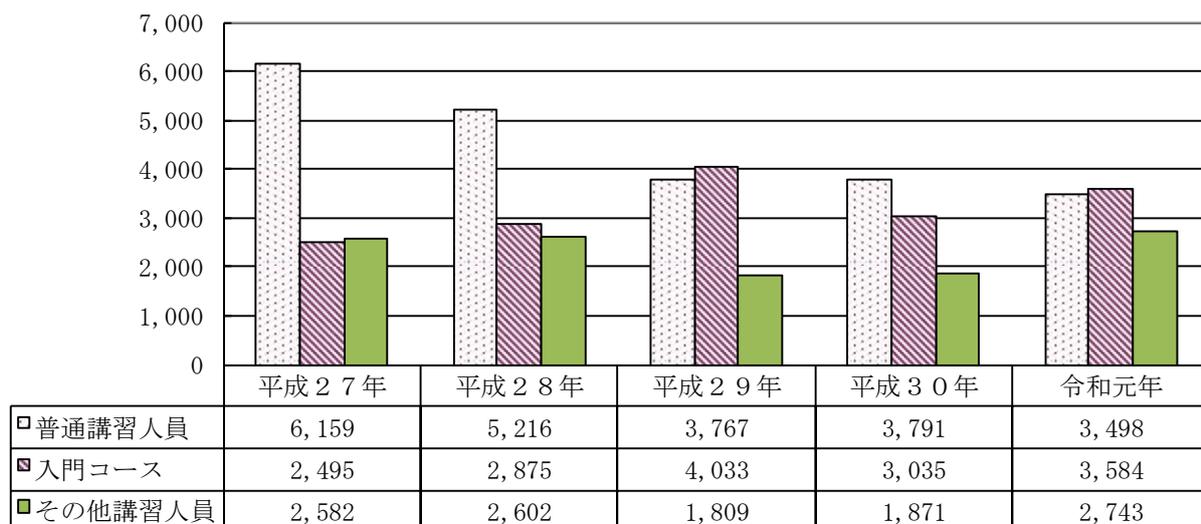
救急講習は毎年500件程度の依頼のうち、圏域住民1万人近くの受講があり、応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

(図Ⅱ-14、Ⅱ-15参照)

図Ⅱ-14 過去5年間の救急講習件数推移



図Ⅱ-15 過去5年間の救急講習人員推移



1 1 市町村別救急活動の推移です。過去5年間の救急件数の推移を見取ることができます。
 (表Ⅱ－1参照)

表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数

		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
米子市	件数	6,300	6,628	6,713	7,332	7,351
	搬送人員	5,919	6,263	6,277	6,837	6,798
境港市	件数	1,522	1,450	1,501	1,572	1,548
	搬送人員	1,451	1,389	1,428	1,493	1,438
日吉津村	件数	128	145	178	173	165
	搬送人員	126	144	173	165	158
大山町	件数	742	783	842	885	872
	搬送人員	697	746	790	834	812
南部町	件数	388	369	394	446	428
	搬送人員	366	352	379	432	406
伯耆町	件数	518	525	548	504	532
	搬送人員	498	502	520	478	503
日南町	件数	345	327	336	324	321
	搬送人員	323	307	317	309	304
日野町	件数	184	191	192	209	191
	搬送人員	175	184	176	190	180
江府町	件数	197	223	245	238	202
	搬送人員	188	213	234	232	196
圏域外	件数	39	13	12	19	14
	搬送人員	29	9	11	18	11
合計	件数	10,363	10,654	10,961	11,702	11,624
	搬送人員	9,772	10,109	10,305	10,988	10,806

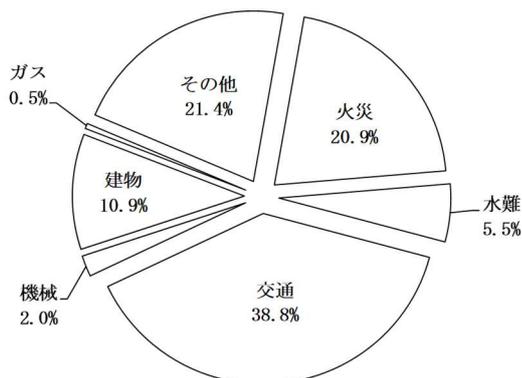
Ⅲ 救助概況

(平成31年1月～令和元年12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は201件で、前年比6件(3.1%)の増加となりました。内訳は、交通事故が78件(38.8%)と最も多く、次いでその他の事故が43件(21.4%)、火災が42件(20.9%)、建物等による事故22件(10.9%)、水難事故が11件(5.5%)、機械による事故が4件(2.0%)、ガス・酸欠事故が1件(0.5%)となりました。(図Ⅲ-1参照)

図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



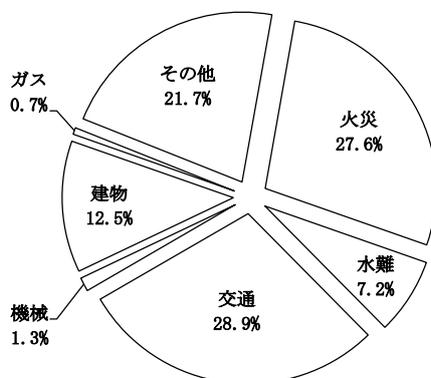
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	42	11	78	0	4	22	1	0	43	201

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は152件で、前年比3件(2.0%)の増加となりました。内訳は、交通事故が44件(29.0%)と最も多く、次いで火災が42件(27.6%)、その他の事故が33件(21.7%)、建物等による事故が19件(12.5%)、水難事故が11件(7.2%)、機械による事故が2件(1.3%)、ガス・酸欠事故が1件(0.7%)となりました。

(図Ⅲ-2参照)

図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



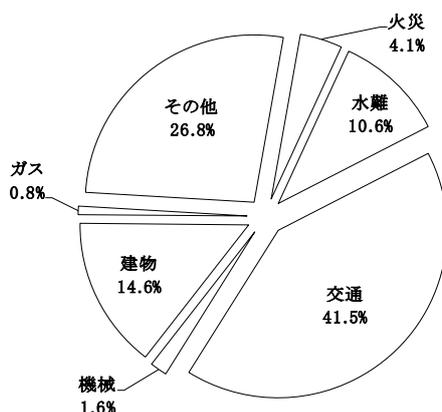
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	42	11	44	0	2	19	1	0	33	152

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は123人で、前年比8人（7.0%）の増加となりました。内訳は、交通事故が51人（41.5%）と最も多く、次いでその他の事故が33人（26.8%）、建物等による事故が18人（14.6%）、水難事故が13人（10.6%）、火災が5人（4.1%）、機械による事故が2人（1.6%）、ガス・酸欠事故が1人（0.8%）の順となっています。

（図Ⅲ－3参照）

図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況



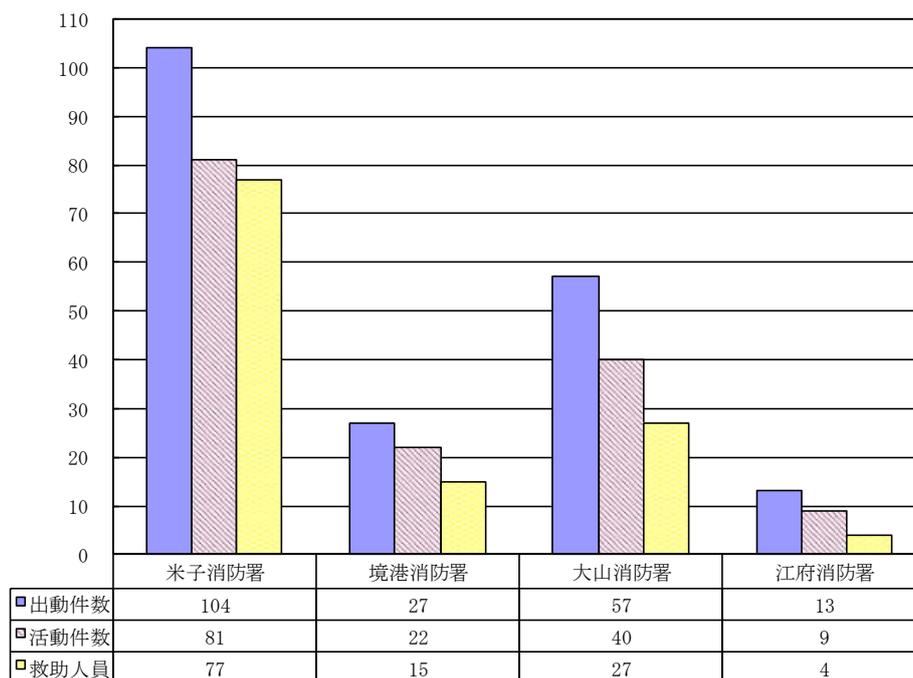
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	13	51	0	2	18	1	0	33	123

4 管轄別救助活動状況

救助出動件数を消防署の管轄別で見ると、米子消防署が104件（51.7%）と最も多く、次いで大山消防署が57件（28.4%）、境港消防署が27件（13.4%）、江府消防署13件（6.5%）となりました。

（図Ⅲ－4参照）

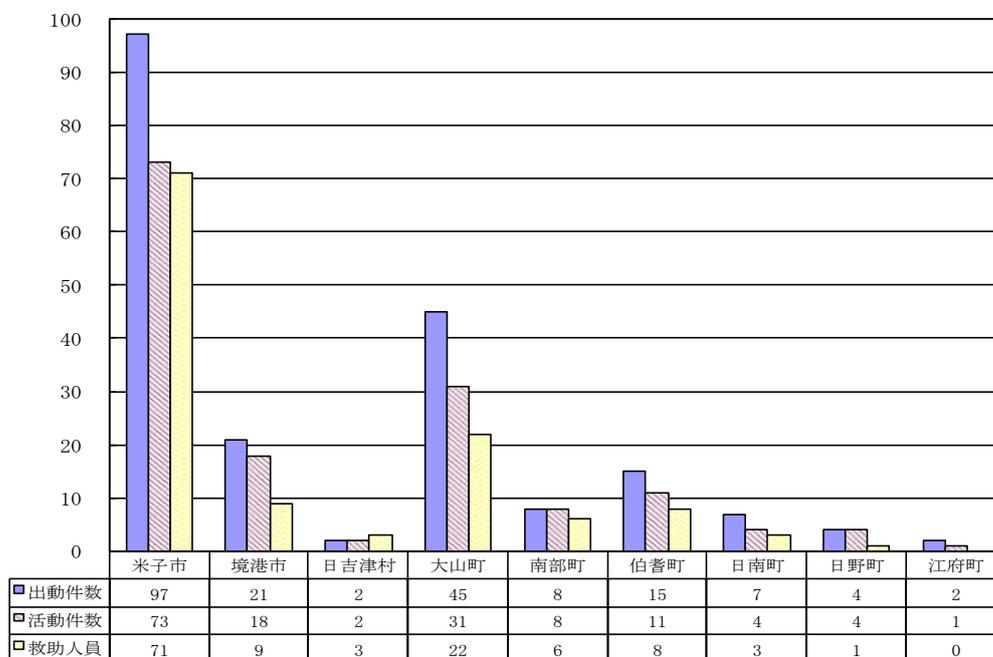
図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

救助活動状況を市町村別で見ると、救助出動件数、救助活動件数、救助人員ともに米子市が最も多く出動件数97件（48.3%）、次いで大山町が45件（22.4%）、境港市が21件（10.4%）、伯耆町が15件（7.5%）となりました。（図Ⅲ—5参照）

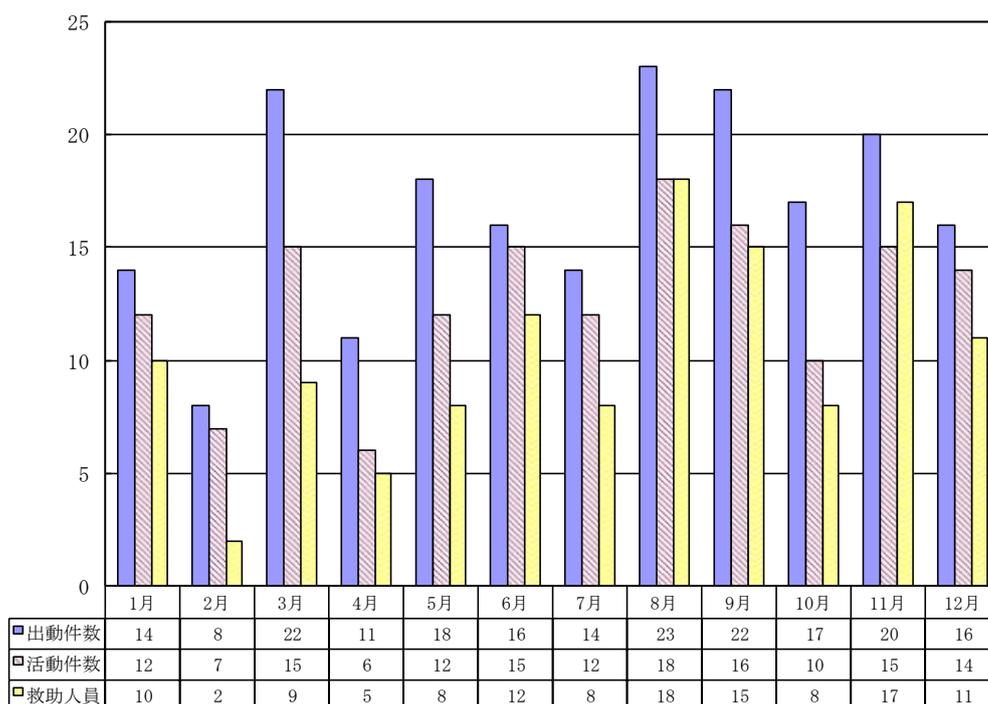
図Ⅲ—5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

救助出動件数を月別で見ると、8月が23件（11.4%）と最も多く、次いで3月と9月が22件（10.9%）、11月が20件（10.0%）、5月が18件（9.0%）となりました。（図Ⅲ—6参照）

図Ⅲ—6 月別救助活動状況



IV 119番着信概況

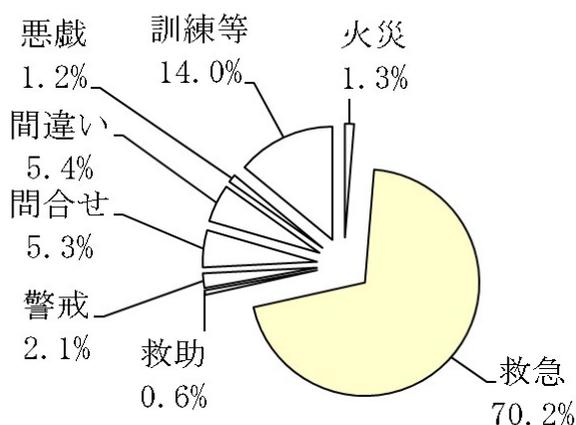
(平成31年1月～令和元年12月)

1 着信件数の概況

119番通報の着信件数は15,579件で、前年比54件(0.3%)の減少となりました。1ヶ月平均にすると約1,298件、1日平均では約42件の着信となりました。通報種別としては、救急が最も多く10,941件(70.2%)でした。火災は198件(1.3%)、救助99件(0.6%)、警戒323件(2.1%)、病院などに関する問い合わせ等825件(5.3%)、間違い838件(5.4%)、悪戯と思われるものが181件(1.2%)、通報訓練等2,174件(14.0%)でした。

(表IV-1参照)

表IV-1 着信件数内訳



火災	198
救急	10,941
救助	99
警戒	323
問い合わせ	825
間違い	838
悪戯	181
訓練等	2,174
合計	15,579

2 月別の119番着信状況

着信件数を月別で見ると、12月が1,454件と最も多く、2月が1,164件と最も少なく、月平均約1,298件でした。

救急通報件数を月別で見ると、8月が1,057件と最も多く、6月が827件と最も少なく、月平均約911件でした。

火災通報件数を月別で見ると、5月が29件と最も多く、10月が7件と最も少なく、月平均約16件でした。

(表IV-2参照)

表IV-2 月別119番着信状況

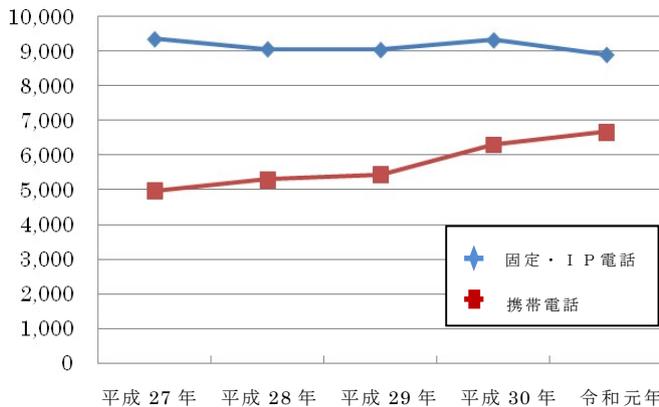
	火災	救急	救助	警戒	問い合わせ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	8	977	6	50	72	50	9	115	1,287
2月	12	837	1	39	45	64	18	148	1,164
3月	19	885	15	51	75	76	4	229	1,354
4月	11	873	2	23	77	44	40	164	1,234
5月	29	840	9	14	69	50	10	199	1,220
6月	19	827	9	16	65	68	13	186	1,203
7月	17	950	7	19	68	97	12	214	1,384
8月	17	1,057	10	24	90	79	10	98	1,385
9月	18	867	14	11	69	83	11	147	1,220
10月	7	919	9	42	71	83	21	222	1,374
11月	20	883	7	26	67	62	19	216	1,300
12月	21	1,026	10	8	57	82	14	236	1,454
合計	198	10,941	99	323	825	838	181	2,174	15,579
月平均	16.5	911.8	8.3	26.9	68.8	69.8	15.1	181.2	1,298.3

3 電話種別による119番着信状況

着信件数を電話種別ごとでみると、固定・IP電話は8,905件で前年比424件の減少、携帯電話は6,674件で前年比370件の増加でした。固定・IP電話からの通報は減少、携帯電話からの通報は増加傾向にあります。

災害別に電話種別による通報状況をみると、火災、救助、警戒など衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が約63%と高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定・IP電話での通報比率が約58%と高くなっています。
(表IV-3、IV-4参照)

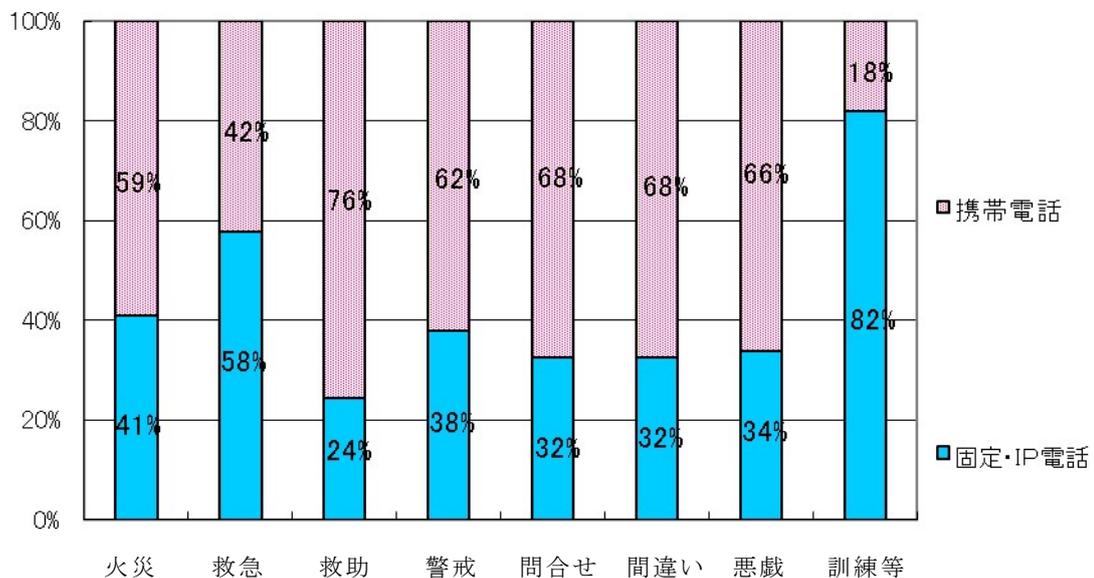
表IV-3 電話種別による119番着信件数の推移



	固定 IP電話	携帯電話	合計
平成27年	9,358	4,969	14,327
平成28年	9,069	5,296	14,365
平成29年	9,047	5,448	14,495
平成30年	9,329	6,304	15,633
令和元年	8,905	6,674	15,579

表IV-4 電話種別による通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定・IP電話	81	6,299	24	122	267	272	61	1,779	8,905
携帯電話	117	4,642	75	201	558	566	120	395	6,674
合計	198	10,941	99	323	825	838	181	2,174	15,579



4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は6,674件で、総着信件数の42.8%でした。また、携帯電話からの問合せ、間違いなどの通報が多くみられます。

西部消防圏域内から他の消防機関へ着信した119番通報を転送受信した件数は54件でした。逆に西部消防圏域外から着信した119番通報を他の消防機関へ転送処理した件数は58件ありました。

(表IV-5、IV-6参照)

表IV-5 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から 転送受信した件数	総着信件数	
6,620	54	6,674	58

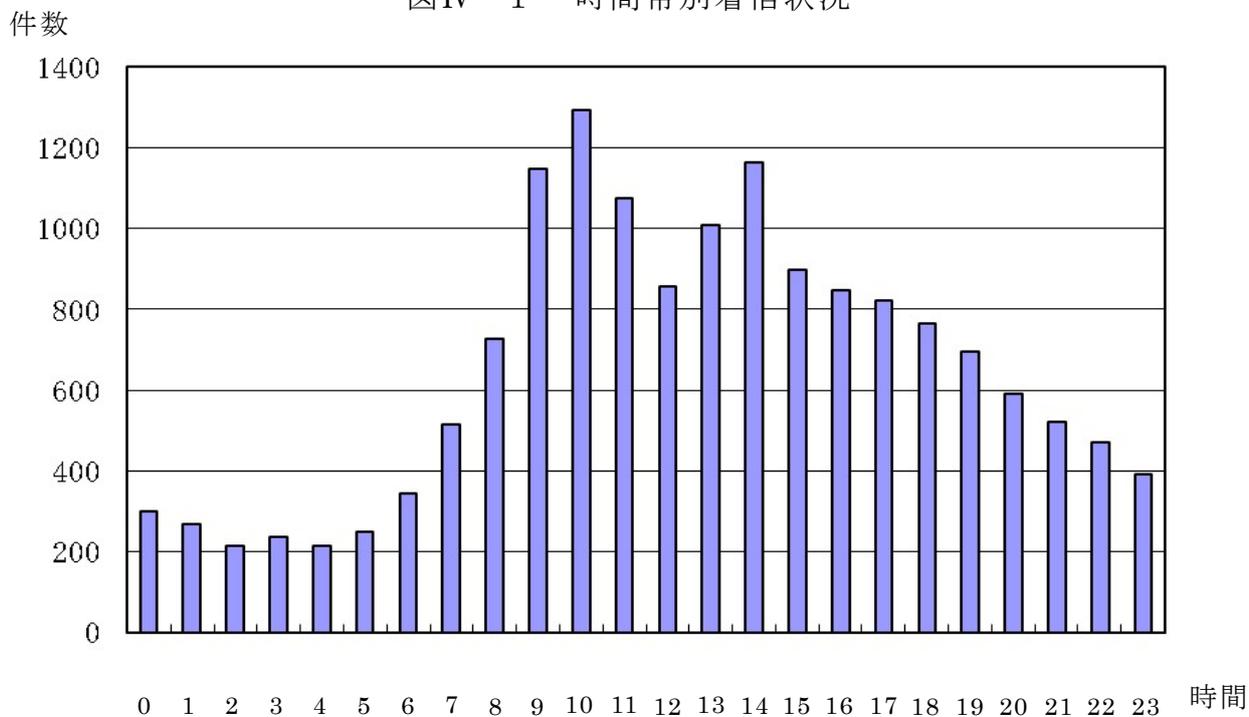
表IV-6 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江	1	15	0	16	松江	2	24	2	28
安来	0	23	2	25	安来	2	10	0	12
東部	0	1	1	2	東部	0	3	0	3
中部	0	5	3	8	中部	0	5	4	9
その他	0	3	0	3	その他	0	5	1	6
合計	1	47	6	54	合計	4	47	7	58

5 時間帯別119番通報の着信状況

119番通報を時間帯別で見ると、一般的な活動時間帯(午前8時～午後9時台)では全体の約79%で、睡眠時間帯(午後10時～午前7時台)では約21%でした。(図IV-1参照)

図IV-1 時間帯別着信状況



ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

令和元年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市上福原313番地1	683-0004	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災……………	予防課予防係	0859-35-1954
救急……………	警防課救急室	0859-35-1958
救助……………	警防課消防第一係	0859-35-1959
119番着信状況	指令課指令係	0859-35-1960

令和2年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)